

## お茶の水女子大学学報

昭和60年11月1日

お茶の水女子大学庶務課

## 目次

関係法令	1
学内規程	1
お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部 を改正する内規	1
お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程の制 定	2
お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程取扱 要項の制定	3
人 事	3
各種委員会委員	7
新任部局長紹介	13
学 事	13
昭和61年度大学院人文科学研究科（修士課 程）学生募集要項（抄）	13
昭和61年度大学院理学研究科修士課程第2 次募集要項（抄）	15
昭和60年卒業式・学位記授与式及び学位記 （論文博士）授与式について	16
諸 報	17
昭和60年度科学研究費補助金交付決定者一 覧	17
海外渡航	17
研 修	18
レクリエーション行事	19
11月のレクリエーション行事	20
健康診断	20
11月の健康診断	20
昭和60年度教育・文化週間の実施について	20
職員の住所変更	21
新任者住所	21
日 誌	21

## 関係法令

## 【省 令】

- 大学設置基準の一部を改正する省令（文部省令第26号、9月4日官報）
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第28号、9月30日官報）

## 【規 則】

- 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する規則（人事院規則16-0-1、9月30日官報）
- 人事院規則16-3（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する規則（人事院規則16-3-3、9月30日官報）
- 人事院規則16-4（補償及び福祉施設の実施）の一部を改正する規則（人事院規則16-4-1、9月30日官報）

## 【告 示】

- 大学等の研究機関等における組換えDNA実験指針の一部を改正する件（文部省告示第115号、8月24日官報）
- 右同の研究機関等における組換えDNA実験指針に基づき、宿主-ベクター系をB1レベルの宿主-ベクター系として認定する件（文部省告示第116号、8月24日官報）
- 昭和61年度科学研究費補助金の計画調書の提出期間を定める件（文部省告示第121号、9月19日官報）
- 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定の一部を改正する件（文部省告示第122号、9月19日官報）

## 学内規程

- 昭和60年お茶の水女子大学規則第9号  
    お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正す

る内規を次のように定める。

昭和60年10月23日

お茶の水女子大学長 藤 巻 正 生

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の

一部を改正する内規

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を次のように改正する。

第4条中「合同審査委員会及び各基金ごとに審査委員会（以下「合同審査委員会等」という。）を置く。」を「各基金ごとに審査委員会を置く。」に改める。

第5条中「合同審査委員会等」を「審査委員会」に改め、「合同審査委員会」を削る。

第6条及び第7条を削る。

第8条第1項中「推薦のあった者に」の前に「学科等から」を加え、「、これについて審査のうえ奨学金受奨候補者名簿を作成するものとする。」を「るものとする。」に、第2項を「審査委員会は、10月末日までに受奨候補者を審査、選定し、学長に推薦するものとする。」に改め、第3項及び第4項を削り、同条を第6条とする。

第9条中「が」を「を」に改め、第2項とし、同条に第1項として次の1項を加え、同条を第7条とする。

「受奨者は、前条の推薦に基づき学長が決定するものとする。」

第10条中「奨学金の授与」を「奨学金」に改め、「行い、」を削り、同条を第8条とする。

第11条を第9条とする。

第12条中「合同審査委員会及び人間文化研究科奨学基金審査委員会に関する事務は庶務課において、」及び、「（人間文化研究科奨学基金審査委員会を除く。）」を削り、「学部」の次に「等」を加え、「ものとする」を削り、同条を第10条とする。

#### 附 則

この内規は、昭和60年10月23日から施行する。

○昭和60年お茶の水女子大学規則第10号

お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程を次のように定める。

昭和60年10月23日

お茶の水女子大学長 藤 巻 正 生

お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程

（趣旨）

第1条 この規程は、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）に永年勤務し、功労のあった職員に対する表彰（以下「表彰」という。）について定める。

（表彰を受ける者）

第2条 表彰は、本学職員であって、次の各号の一に該当し、かつ、勤務成績が良好で表彰するに足ると認められる者について行う。

一 勤労感謝の日において、本学職員又は本学以外の教育関係公務員として引き続いた在職期間（以下「勤続期間」という。）が20年以上であって、当該勤続期間のうち本学職員としての在職期間が10年以上である者

二 事務系職員及び附属学校教員で定年退職の日において、勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本学職員としての在職期間が15年以上である者

（表彰）

第3条 表彰は、1人の職員について前条各号ごとに1回とする。

（表彰状の授与）

第4条 表彰は、学長が別記様式による表彰状を授与することにより行う。

2 前項の表彰状に併せて記念品を贈呈する。

（表彰の日）

第5条 表彰は、次の各号に掲げる日において行う。

一 第2条第1号に該当する場合 勤労感謝の日

二 第2条第2号に該当する場合 定年退職の日

（勤続期間の計算）

第6条 勤続期間の計算は、本学職員又は本学以外の教育関係公務員となった日の属する月から表彰の日の属する月までの月数による。

（除算期間）

第7条 前条の期間には、次の各号に掲げる期間を除算する。

一 休職の期間（公務上の負傷又は疾病による休職の期間、人事院規則11-4第3条第1項又は同条第2項に掲げる事由による休職の期間を除く。）

二 育児休業の期間

三 職員団体専従の期間

四 懲戒処分により減給又は停職された期間

（その他）

第8条 この規程の運用については、別に定める。

#### 附 則

1 この規程は、昭和60年10月23日から施行する。

2 この規程の施行の際、すでに行われた勤労感謝の日の表彰は、この規程第2条第1号により行われた表彰とみなす。

## 別記様式

(第2条第1号の場合)

表彰状	氏名殿	あなたは永年本学に勤務し 職務に精励されました よってここに表彰します	昭和 年十一月二十三日	お茶の水女子大学長 氏名 印
-----	-----	---	----------------	----------------------

(第2条第2号の場合)

表彰状	氏名殿	あなたは永年本学に勤務し 職務に精励されました このたびの退職にあたり その功労を表彰します	昭和 年三月三十一日	お茶の水女子大学長 氏名 印
-----	-----	---	---------------	----------------------

○昭和60年お茶の水女子大学規則第11号

お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程取扱要項を次のように定める。

昭和60年10月23日

お茶の水女子大学長 藤 巻 正 生

お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程取扱要項

お茶の水女子大学永年勤続者表彰規程の運用について、次のとおりと定める。

## 1 表彰を受ける者(第2条関係)

一 「職員」には非常勤職員及び併任職員を含まないものとする。

二 第2条第1号による表彰を受ける者のうち、表彰の日において私傷病による病気休暇が引き続き90日以上となる者及び第7条各号に掲げる除算期間中である者を除く。

三 「教育関係公務員」とは、文部省設置法に基づ

き設置された機関の職員及び地方公共団体における教育関係機関の職員をいう。

## 2 記念品(第4条第2号関係)

一 第2条第1号の記念品 銀 盃

二 第2条第2号の記念品 金 盃

## 3 表彰の日(第5条関係)

勤労感謝の日の表彰は、原則として、その前日に行う。

その日及び定年退職の日が日曜日又は土曜日の時は、原則として、その前の金曜日とする。

## 4 除算期間(第7条関係)

一 除算期間に該当する期間が1日以上ある月は1月として除算する。

二 地方公共団体において条例等により第7条各号に相当する期間がある場合も含むものとする。

## 人 事

## ○ 人事異動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
60. 8. 30	太 田 次 郎	理学部長事務代理(免)	公 の 名 称	(理学部教授)
60. 9. 1	浅 田 常 明	施設課工営係長	昇 任	施設課
"	石 川 千 一	施設課設備係長	"	"
"	林 正 男	助教授(理学部)	"	筑波大学生物科学系講師
"	五十嵐 脩	生活環境研究センター長 事務代理(免)	公 の 名 称	(生活環境研究センター) 教授
"	浅 田 常 明	施設課工営係長心得(免)	勤 務 命 令	(施設課)

"	石川 千一	施設課設備係長心得(免)	"	( " )
60. 9. 30	矢部 敏昭	辞職承認	辞 職	附属小学校教諭
60. 10. 1	平野 孝	評議員 併任の期間 62. 9. 30 まで	併 任	(文教育学部教授)
"	佐藤 保	"	"	( " )
"	野島 秀勝	"	"	( " )
"	立花 俊一	"	"	(理学部教授)
"	沢島 侑子	"	"	( " )
"	田中 翠	"	"	( " )
"	相田 浩	評議員 併任の期間 62. 3. 31 まで	"	(家政学部教授)
"	石川 欣造	評議員 併任の期間 62. 9. 30 まで	"	( " )
"	小倉 志祥	評議員 併任の期間 62. 3. 31 まで	"	( " )
60. 10. 16	杉田 慶子	附属小学校教諭	採 用	

## ○ 非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	本 務
60. 10. 1	五味 文彦	講師(文教育学部)	60. 10. 1~61. 3. 31	東京大学助教授
"	天野 正子	"	"	千葉大学助教授
"	糸野 豊	"	"	筑波大学教授
"	長澤 靖夫	"	"	東京学芸大学助教授
"	山本 吉宣	"	"	埼玉大学教授
"	田辺 勝美	"	"	助古代オリエント博物館研究員
"	金丸 和子	"	"	
"	木下 良	"	"	国学院大学教授
"	杉原 誠四郎	"	"	城西大学教授
"	井上 敏博	"	"	城西大学女子短期大学講師
"	磯田 一雄	"	"	成城大学教授
"	木全力 夫	"	"	創価大学助教授
"	庄司 和晃	"	"	大東文化大学教授
"	八木 陽子	"	"	学習院大学助教授
"	吉田 敬一	"	"	昭和大学教授
"	平田 慶子	"	"	
"	大日向 雅美	"	"	彰栄保育専門学校講師
"	久保田 敬一	"	"	武蔵大学助教授
"	滝沢 由美子	"	"	
"	板谷 徹	"	"	
"	佐藤 絢子	講師(文教育学部)	"	

"	前 野 典 子	"	"	附属小学校教諭
"	宮 崎 幸 子	"	"	"
"	三 浦 良 子	"	"	附属高等学校教諭
"	中 村 得 之	講師 (理学部)	"	東京大学教授
"	高 橋 涉	"	"	東京工業大学助教授
"	高 山 一	"	"	京都大学教授
"	佐 藤 和 郎	"	"	東京大学講師
"	谷 口 雅 男	"	"	東京工業大学教授
"	井 上 圭 三	"	"	東京大学教授
"	堀 田 凱 樹	"	"	"
"	高 野 敬	"	"	東京大学助手
"	大津賀 信	"	"	学習院大学教授
"	上 坪 宏 道	"	"	理化学研究所主任研究員
"	野 田 春 彦	"	"	放送大学教授
"	高 本 進	"	"	学習院大学教授
"	中 村 禎 里	"	"	立正大学教授
"	広 川 秀 夫	"	"	上智大学教授
"	武 久 慎	"	"	慶応義塾大学教授
"	吉 田 精 一	"	"	東京都立大学教授
"	小 原 秀 雄	"	"	女子栄養大学教授
"	石 川 孝 夫	"	"	東京理科大学教授
"	渡 部 力	"	"	理化学研究所主任研究員
"	並 木 雅 俊	"	"	高千穂商科大学助教授
"	見 田 宗 介	講師 (家政学部)	"	東京大学教授
"	多 胡 義 孝	"	"	東京大学助手
"	戸 田 昭 三	"	"	東京大学教授
"	薬 師 久 弥	"	"	東京大学助教授
"	高 久 明	"	"	東京工業大学助教授
"	小見山 二 郎	"	"	"
"	上 田 光 宏	"	"	"
"	入 来 正 躬	"	"	山梨医科大学教授
"	瀬 川 昌 也	"	"	瀬川小児神経学クリニック院長
"	山 口 静 子	"	"	味の素株式会社中央研究所研究員
"	宮 崎 基 嘉	"	"	放送大学教授
"	養 田 泰 治	"	"	
"	古 賀 正 三	"	"	
"	下 村 道 子	"	"	大妻女子大学助教授

"	菅 沼 恵 子	"	"	ソニー学園湘化短期大学助教授
"	成 田 汀	"	"	
"	増 渕 宗 一	"	"	日本女子大学教授
"	田 村 照 子	"	"	文化女子大学教授
"	安 井 孝 治	"	"	慶応義塾大学教授
"	井 上 勝 也	"	"	東京都老人総合研究所室長
"	瀬 沼 勲	"	"	日本女子大学教授
"	原 田 勝 弘	"	"	明治学院大学教授
"	目 黒 依 子	"	"	上智大学教授
"	岩 井 寛	"	"	聖マリアンナ医科大学教授
"	堀 内 捷 三	"	"	法政大学教授
"	竹 内 整 一	"	"	専修大学助教授
"	山 口 昌 男	講師 (大学院人間文化研究科)	"	外国語大学教授
"	相 良 亨	"	"	共立女子大学教授
"	吉 見 映 子	講師 (附属高等学校)	60. 10. 1~60. 12. 31	
60. 10. 16	太 田 勇	講師 (文教育学部)	60. 10. 16~61. 3. 31	東洋大学教授
"	鈴 木 邦 雄	"	"	横浜国立大学助教授
"	高 阪 宏 行	"	"	日本大学助教授
"	斉 藤 功	"	"	筑波大学助教授
"	河 辺 宏	"	"	人口問題研究所 人口移動部長
"	浜 田 龍之介	"	"	東京農工大学教授
"	吉 川 虎 雄	"	"	東京農業大学教授
"	山 口 勝 弘	"	"	筑波大学教授
"	上 野 田 鶴子	"	"	国立国語研究所 日本語教育指導普及部長
"	和 田 秀 男	講師 (理学部)	"	上智大学教授
"	伊 藤 清 三	"	"	東京大学教授
"	市 田 良 輔	"	"	横浜市立大学助教授
"	鈴 木 紘 一	"	"	東京都臨床医学総合研究所部長
"	山 崎 昶	"	"	電気通信大学助教授
"	岡 崎 廉 治	"	"	東京大学助教授
"	今 井 一 洋	講師 (家政学部)	"	東京大学助教授
"	高 井 信 治	"	"	東京大学講師
"	八 木 尚 江	講師 (附属小学校)	60. 10. 16~60. 11. 30	
"	西 澤 奈津子	講師 (附属高等学校)	60. 10. 16~60. 12. 31	大学院人間文化研究科助手

## ○ 非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
60. 8. 31	倉 田 美奈子	辞職承認		文教育学部
60. 9. 1	庄 司 宏 子	事務補佐員（文教育学部）	60. 9. 1～61. 3. 31	
60. 9. 30	松 本 美 鈴	辞職承認		家政学部
"	宇佐川 貴 子	"		"
"	鈴 木 千穂子	"		"
60.10. 1	蓼 原 道 子	教務補佐員（文教育学部）	60.10. 1～61. 3. 31	
"	黄 淑 菜	"（家政学部）	"	
"	吉 田 美和子	事務補佐員（大学院 人間文化研究科）	"	
60.10.16	阿 部 千恵子	教務補佐員（家政学部）	60.10.16～61. 3. 31	
"	梅 森 栄利子	"	"	
"	大 塚 洋 子	"	"	
"	須 田 さほみ	"	"	
"	前 田 尚 子	事務補佐員（家政学部）	"	

## ◆各種委員会委員◆

1. ( ) は事務担当課
2. \*印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定

## 評議会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	* 藤 卷 正 生	60. 2. 16～62. 2. 15
文 教 育 学 部 学 長	森 隆 夫	59.10. 1～61. 9. 30
理学部長	中 西 正 城	59. 4. 2～61. 3. 31
家政学部長	荒 川 信 彦	60. 4. 2～62. 4. 1
人間文化研究科長	太 田 次 郎	60. 4. 1～63. 3. 31
附 図 書 館 属 長	堤 精 二	60. 4. 2～62. 4. 1
附 学 校 部 属 長	河 野 重 男	60. 7. 16～63. 7. 15
文教育学部教授	平 野 孝	60.10. 1～62. 9. 30
文教育学部教授	佐 藤 保	60.10. 1～62. 9. 30
文教育学部教授	野 島 秀 勝	60.10. 1～62. 9. 30
理 学 部 教 授	立 花 俊 一	60.10. 1～62. 9. 30
理 学 部 教 授	沢 島 侑 子	60.10. 1～62. 9. 30
理 学 部 教 授	田 中 翠	60.10. 1～62. 9. 30
家 政 学 部 教 授	相 田 浩	60.10. 1～62. 3. 31
家 政 学 部 教 授	石 川 欣 造	60.10. 1～62. 9. 30

家 政 学 部 教 授	小 倉 志 祥	60.10. 1～62. 3. 31
（常時評議会に出席できる者）		
事 務 局 長	広 重 利 之 輔	
学 生 部 長	中 島 利 誠	59. 1. 1～60.12.31
一 般 教 育 委 員 長	井 内 昇	60. 4. 1～61. 3. 31
教 務 委 員 長	石 黒 英 一	60. 4. 1～61. 3. 31
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	福 場 博 保	59. 4. 1～61. 3. 31

## 予算委員会（会計課）

文 教 育 学 部 学 長	森 隆 夫	
理 学 部 長	中 西 正 城	
家 政 学 部 長	荒 川 信 彦	
人 間 文 化 研 究 科 長	太 田 次 郎	
文教育学部教授	式 正 英	60. 4. 1～62. 3. 31
文教育学部教授	中 川 信	59.10. 1～61. 9. 30
理学部教授	瀬 野 信 子	60. 4. 1～62. 3. 31
理学部教授	橋 爪 夏 樹	59. 4. 1～61. 3. 31
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	59. 4. 1～61. 3. 31
家 政 学 部 教 授	石 川 欣 造	60. 4. 1～62. 3. 31
人 間 文 化 研 究 科 教 授	浅 海 重 男	60. 4. 1～62. 3. 31

附属図書館長	*堤 精二	
生活環境研究センター長	福場 博保	
事務局長	広重利之輔	
学生部長	中島 利誠	
会計課長	万木 直	

## 施設計画委員会（施設課）

学 長	*藤 卷 正 生	
文教育学部長	森 隆 夫	
理学部長	中西 正 城	
家政学部長	荒 川 信 彦	
人間文化研究科長	太 田 次 郎	
文教育学部教授	浅 海 重 夫	60.10. 1～62. 9.30
文教育学部教授	青 木 和 夫	60.10. 1～62. 9.30
理学部教授	林 田 侃	59. 4. 1～61. 3.31
理学部教授	伊 藤 厚 子	60. 4. 1～62. 3.31
家政学部教授	小 林 彰 夫	59. 4. 1～61. 3.31
家政学部教授	板 倉 壽 郎	59. 4. 1～61. 3.31
人間文化研究科教授	浅 海 重 夫	60. 4. 1～62. 3.31
附属図書館長	堤 精 二	
附 属 学 校 部 長	河 野 重 男	
生活環境研究センター長	福場 博保	
事務局長	広重利之輔	
学生部長	中島 利誠	
一般教育委員長	井 内 昇	

## 館山施設計画委員会（施設課）

理学部長	中西 正 城	
文教育学部教授	加 賀 秀 夫	59. 4. 1～61. 3.31
文教育学部助 教 授	石 黒 節 子	60.10. 1～62. 9.30
理学部教授	瀬 野 信 子	59.10. 1～61. 9.30
家政学部教授	福場 博保	59.10. 1～61. 9.30
理学部臨海実験所所長	能 村 堆 子	
附属高等学校	藤 井 徳 爾	
附属中学校	八 城 慶 子	
附属小学校	萩 原 栄	

附属幼稚園	村 石 京	
学生部長	中島 利誠	
事務局長	広重利之輔	
会計課長	万木 直	
施設課長	小牧 幸夫	

## 廃水管理委員会（施設課）

文教育学部教授	浅 海 重 夫	59.10. 1～61. 9.30
理学部教授	塚 本 晃	59.10. 1～61. 9.30
理学部助 教 授	富 永 靖 徳	59.10. 1～61. 9.30
理学部助 教 授	永 野 肇	59.10. 1～61. 9.30
家政学部教授	*小 林 彰 夫	59.10. 1～61. 9.30
家政学部師 範	駒 城 素 子	59.10. 1～61. 9.30
生活環境研究センター	五十嵐 脩	59.10. 1～61. 9.30
附属高等学校	藤 井 徳 爾	
附属中学校	八 城 慶 子	
会計課長	万木 直	
施設課長	小牧 幸夫	

## レクリエーション運営委員会（庶務課）

事務局長	*広重利之輔	
庶務課長	青 木 勇	
会計課長	万木 直	
施設課長	小牧 幸夫	
学生課長	樋 沼 宗 吉	
厚生課長	尾 形 五 郎	
入学主 幹	窪 田 一 郎	
附属図書館事務長	福 本 健 弥	
文教育学部事務長	大 門 龍 夫	
理学部事務長	磯 崎 昭 男	
家政学部事務長	内 野 公 夫	
庶務課長補佐	豊 田 広 一	
会計課長補佐	野 村 直 樹	
学生課長補佐	浦 田 要	
附属学校部事務室長	高 橋 伝	



## 入学試験委員会 (入学主幹室)

学 長	* 藤 卷 正 生	
文 教 育 学 部 長	森 隆 夫	
理 学 部 長	中 西 正 城	
家 政 学 部 長	荒 川 信 彦	
文 教 育 学 部 教 授	加 賀 秀 夫	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	三 上 岳 彦	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
理 学 部 教 授	伊 藤 敬	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
理 学 部 助 教 授	福 田 豊	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 教 授	板 倉 壽 郎	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	倉 田 忠 男	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
学 生 部 長	中 島 利 誠	
事 務 局 長	広 重 利 之 輔	
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	奥 野 剛	
電 子 計 算 機 室 長	石 黒 英 一	

## 入学者選抜方法研究委員会 (入学主幹室)

文 教 育 学 部 教 授	式 正 英	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	須 賀 哲 夫	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
理 学 部 教 授	柴 田 文 明	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
理 学 部 助 教 授	藤 原 正 彦	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	富 田 守	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
学 生 部 長	* 中 島 利 誠	
教 務 委 員 長	石 黒 英 一	
一 般 教 育 委 員 長	井 内 昇	

## 教務委員会 (学生課)

文 教 育 学 部 教 授	宮 島 喬	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	内 田 伸 子	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
理 学 部 教 授	* 石 黒 英 一	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	富 田 守	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
一 般 教 育 委 員 長	井 内 昇	
学 生 部 長	中 島 利 誠	

## 一般教育委員会 (入学主幹室)

文 教 育 学 部 教 授	* 井 内 昇	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
文 教 育 学 部 教 授	三 木 紀 人	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
理 学 部 教 授	石 黒 英 一	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
家 政 学 部 教 授	田 口 恒 夫	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
家 政 学 部 教 授	相 田 浩	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
学 生 部 長	中 島 利 誠	

## 教育実習専門委員会 (学生課)

附 属 学 校 部 長	河 野 重 男	
文 教 育 学 部 助 教 授	* 宮 原 修	60. 4. 1 ~ 62. 3. 31
理 学 部 教 授	遠 山 益	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	黒 田 淑 子	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
教 務 委 員 会 教 職 課 程 員 担 当 委 員	内 田 伸 子	59. 4. 1 ~ 61. 3. 31
附 小 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
附 中 学 校 部 長	新 関 滋 也	
附 高 等 学 校 部 長	犬 養 廉	
附 幼 稚 園 部 長	外 山 滋 比 古	
附 小 学 校 教 育 実 習 主 任	上 田 の り 子	
附 中 学 校 教 育 実 習 主 任	佐 藤 道 幸	
附 高 等 学 校 教 育 実 習 主 任	石 田 光 子	
附 幼 稚 園 教 育 実 習 主 任	田 中 三 保 子	

学生委員会・学寮委員会・学生会館運営委員会  
(学生課・厚生課)

文 教 育 学 部 教 授	* 杉 本 正 哉	60. 4. 1 ~ 61. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	高 島 元 洋	60. 10. 1 ~ 61. 9. 30
理 学 部 教 授	永 野 肇	60. 10. 1 ~ 61. 9. 30
理 学 部 講 師	芦 原 坦	60. 4. 1 ~ 61. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	小 川 昭 二 郎	60. 10. 1 ~ 61. 9. 30
家 政 学 部 講 師	駒 城 素 子	60. 4. 1 ~ 61. 3. 31
学 生 部 長	中 島 利 誠	

## 組織運営検討委員会（庶務課）

学 長	*藤 卷 正 生	
文 学 教 育 部 長	森 隆 夫	
理 学 部 長	中 西 正 城	
家 政 学 部 長	荒 川 信 彦	
人 間 文 化 研 究 科 長	太 田 次 郎	
附 属 図 書 館 長	堤 精 二	
附 属 学 校 部 長	河 野 重 男	
学 生 部 長	中 島 利 誠	
事 務 局 長	廣 重 利 之 輔	

## 将来構想検討委員会（庶務課）

文教育学部教授	中 川 信	59.10. 1～61. 9.30
文教育学部助教授	土 屋 賢 二	59.10. 1～61. 9.30
理学部教授	石 黒 英 一	59.10. 1～61. 9.30
理学部助教授	藤 原 正 彦	59.10. 1～61. 9.30
家政学部教授	本 田 和 子	59.10. 1～61. 9.30
家政学部助教授	富 田 守	59.10. 1～61. 9.30
人間文化研究科教授	*式 正 英	59.10. 1～61. 9.30
生活環境研究センター助教授	大 橋 昌 子	59.10. 1～61. 9.30

## 外国人留学生顧問教官会議（学生課）

文教育学部教授	*中 山 時 子	59. 7. 1～61. 6.30
理学部助教授	永 野 肇	59. 4. 1～61. 3.31
家政学部教授	原 ひろ子	59. 7. 1～61. 6.30

## 食堂運営委員会（厚生課）

学生部長	*中 島 利 誠	
文教育学部教授	杉 本 正 哉	60.10. 1～61. 3.31
家政学部教授	島 田 淳 子	60. 4. 1～61. 3.31
家政学部助教授	富 永 典 子	60. 4. 1～61. 3.31
附属高等学校教諭	中 原 順 子	60. 4. 1～61. 3.31
事務局長	廣 重 利 之 輔	
会計課長	万 木 直	
学生課長	樋 沼 宗 吉	
厚生課長	尾 形 五 郎	

文教育学部学務係長	宮 腰 泰 憲	60. 4. 1～61. 3.31
学生自治会委員長		
小石川寮運営委員長		
大山寮運営委員長		

## 事務改善研究委員会（庶務課）

事務局長	*廣 重 利 之 輔	
庶務課長	青 木 勇	
会計課長	万 木 直	
施設課長	小 牧 幸 夫	
学生課長	樋 沼 宗 吉	
厚生課長	尾 形 五 郎	
入学主幹	窪 田 一 郎	
庶務課長補佐	豊 田 広 一	
会計課長補佐	野 村 直 樹	
学生課長補佐	浦 田 要	
文教育学部事務部長	大 門 龍 夫	
理学部事務部長	磯 崎 昭 男	
家政学部事務部長	内 野 公 夫	
附属図書館事務部長	福 本 健 弥	

## 購入物品機種選定委員会（会計課）

文教育学部教授	浅 海 重 夫	60. 1. 1～61. 3.31
文教育学部助教授	須 賀 哲 夫	60. 1. 1～61. 3.31
理学部教授	伊 藤 厚 子	60. 1. 1～61. 3.31
理学部教授	*曾 根 興 三	60. 1. 1～61. 3.31
家政学部教授	小 林 彰 夫	60. 1. 1～61. 3.31
家政学部助教授	倉 田 忠 男	60. 1. 1～61. 3.31

## 公開講座委員会（入学主幹室）

文教育学部教授	熊 谷 直 男	59. 1.20～61. 1.19
文教育学部教授	中 川 信	59. 1.20～61. 1.19
文教育学部教授	徳 丸 吉 彦	59. 1.20～61. 1.19
理学部助教授	小 山 敏 子	59. 1.20～61. 1.19
理学部助教授	池 田 宏 信	59. 1.20～61. 1.19
理学部講師	藤 枝 修 子	59. 1.20～61. 1.19

家政学部 教授	* 本田 和子	59. 1.20 ~ 61. 1.19
家政学部 教授	原 ひろ子	59. 1.20 ~ 61. 1.19
生活環境研 究センター 助 教授	富 永 典子	59. 1.20 ~ 61. 1.19
学生部長	中 島 利 誠	

## 大学院研究科連絡委員会（庶務課）

学 長	* 藤 卷 正 生	
人文科学 研究科 学 長	森 隆 夫	
理 学 科 学 長	中 西 正 城	
家政学 研究科 学 長	荒 川 信 彦	
人文科学 研究科 教 授	尾 田 幸 雄	60. 4. 1 ~ 62. 3.31
人文科学 研究科 教 授	頼 惟 勤	60. 4. 1 ~ 62. 3.31
理学研究 科 教 授	澤 島 侑 子	60. 4. 1 ~ 62. 3.31
理学研究 科 教 授	曾 根 興 三	60. 4. 1 ~ 62. 3.31
家政学 研究科 教 授	大 塚 雅 彦	60. 4. 1 ~ 62. 3.31
家政学 研究科 教 授	小 倉 志 祥	60. 4. 1 ~ 62. 3.31

## 保健管理センター運営委員会（厚生課）

保健管理 センター 所 長	* 奥 野 剛	
文教育学部 教 授	酒 本 雅 之	59.10. 1 ~ 61. 9.30
文教育学部 助 教 授	石 黒 節 子	59.10. 1 ~ 61. 9.30
理 学 部 教 授	池 田 宏 信	60. 9.16 ~ 62. 9.15
理 学 部 講 師	藤 枝 修 子	60. 9.16 ~ 62. 9.15
家政学部 教 授	島 田 淳 子	59. 9.16 ~ 61. 9.15
家政学部 助 教 授	水 野 悌 一	59. 9.16 ~ 61. 9.15
附属高等 学校教諭	小田川 恭 子	60. 4. 1 ~ 61. 3.31
附属小学 学校教諭	横 山 善 美	60. 4. 1 ~ 61. 3.31
文教育学部 教 授	奥 水 はる海	
理 学 部 教 授	塚 本 晃	
家政学部 助 教 授	富 田 守	
学生部長	中 島 利 誠	
事務局 長	廣 重 利之輔	

## 学芸員課程委員会（文教育学部）

文教育学部 教 授	* 小 川 剛	
文教育学部 助 教 授	鷹 野 光 行	

文教育学部 教 授	坂 本 満	59.10. 1 ~ 61. 9.30
文教育学部 教 授	青 木 和 夫	59.10. 1 ~ 61. 9.30
文教育学部 教 授	井 内 昇	59.10. 1 ~ 61. 9.30
文教育学部 教 授	三 木 紀 人	59.10. 1 ~ 61. 9.30
理 学 部 助 教 授	山 下 貴 司	59.10. 1 ~ 61. 9.30
家政学部 教 授	板 倉 壽 郎	59.10. 1 ~ 61. 9.30

## 理学部附属臨海実験所運営委員会（理学部）

理学部長	* 中 西 正 城	
臨海実験 所 長	能 村 堆 子	
理 学 部 助 教 授	根 本 心 一	
理 学 部 教 授	塩 田 三千夫	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
理 学 部 助 教 授	富 永 靖 典	60. 4. 1 ~ 61. 3.31
理 学 部 講 師	渡 辺 洋 子	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
文教育学部 教 授	式 正 英	60.10. 1 ~ 61. 3.31
文教育学部 講 師	栗 原 尚 子	60. 4. 1 ~ 62. 3.31
家政学部 助 教 授	本 間 清 一	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
生活環境研 究センター 助 教 授	大 橋 昌 子	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
会計課 長	万 木 直	
施設課 長	小 牧 幸 夫	

## 電子計算機室運営委員会（理学部）

理学部長	* 中 西 正 城	
電子計算機 室 長	石 黒 英 一	
電子計算機 副 室 長	細 矢 治 夫	
理学部教授	林 田 侃	60. 4. 1 ~ 61. 3.31
理学部教授	橋 爪 夏 樹	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
理学部教授	塚 本 晃	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
文教育学部 助 教 授	三 上 岳 彦	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
家政学部 助 教 授	倉 田 忠 男	59. 4. 1 ~ 61. 3.31
事務局 長	廣 重 利之輔	
会計課 長	万 木 直	

## 理学部ラジオアイソトープ

## 実験室運営委員会（理学部）

理学部長	* 中 西 正 城	
------	-----------	--

R 実験室長	清水 碩	
放射線 取扱主任者	所 哲 司	
文教育学部 教授	式 正 英	59. 4. 1~61. 3.31
理学部教授	田 中 翠	59.10. 1~61. 9.30
理学部 教授	太 田 次 郎	59.10. 1~61. 9.30
理学部 助 教 授	松 本 勲 武	59.10. 1~61. 9.30
生活環境研 究センター 教 授	五十嵐 脩	59.10. 1~61. 9.30
家政学部 助 教 授	倉 田 忠 男	60.10. 1~62. 9.30

## 理学部極低温実験室運営委員会（理学部）

理学部長	*中西 正 城	
極低温実験 室 長	伊 藤 厚 子	
理学部教授	田 中 翠	59. 4. 1~61. 3.31
理学部教授	清 水 碩	59. 4. 1~61. 3.31
理学部 助 教 授	福 田 豊	59. 4. 1~61. 3.31
生活環境研 究センター 助 教 授	富 永 典 子	59. 4. 1~61. 3.31
保安監督者	所 哲 司	

## 附属図書館運営委員会（附属図書館）

附 属 図 書 館 長	*堤 精 二	
文教育学部 教 授	近 藤 光 男	59.10. 1~61. 9.30
文教育学部 助 教 授	富 山 太 佳 夫	59. 4. 1~61. 3.31
理学部 助 教 授	松 本 勲 武	59. 4. 1~61. 3.31
理学部講師	亀 井 理	59. 4. 1~61. 3.31
家政学部 教 授	小 倉 志 洋	59. 4. 1~61. 3.31
生活環境研 究センター 教 授	五十嵐 脩	60. 4. 1~62. 3.31
一般教育 委 員 長	井 内 昇	

## 女性文化資料館運営委員会（附属図書館）

女性文化 資料館長	*堤 精 二	
文教育学部 助 教 授	平 野 由 紀 子	60. 9. 1~62. 8.31
文教育学部 助 教 授	中 村 弓 子	60. 9. 1~62. 8.31
理学部 助 教 授	渡 辺 ひ さ 子	60. 9. 1~62. 8.31
理学部教授	前 田 侯 子	59. 4. 1~61. 3.31
家政学部 助 教 授	小 池 三 枝	60. 9. 1~62. 8.31

家政学部 助 教 授	袖 井 孝 子	60. 9. 1~62. 8.31
---------------	---------	-------------------

## 生活環境研究センター運営委員会

（家政学部）

生活環境研 究センター長	*福 場 博 保	
文教育学部 学 長	森 隆 夫	
理学部長	中 西 正 城	
家政学部長	荒 川 信 彦	
生活環境研 究センター 教 授	五十嵐 脩	
生活環境研 究センター 助 教 授	大 橋 昌 子	
生活環境研 究センター 助 教 授	富 永 典 子	
文教育学部 教 授	浅 海 重 夫	60. 4. 1~62. 3.31
理学部教授	能 村 堆 子	59. 4. 1~61. 3.31
家政学部 教 授	小 林 彰 夫	59. 4. 1~61. 3.31
家政学部 教 授	石 川 欣 造	59. 4. 1~61. 3.31
事務局長	広 重 利 之 輔	

## 生活環境研究センター研究委員会（家政学部）

生活環境研 究センター長	*福 場 博 保	
生活環境 研究センター 教 授	五十嵐 脩	
生活環境 研究センター 助 教 授	大 橋 昌 子	
生活環境 研究センター 助 教 授	富 永 典 子	
文教育学部 教 授	浅 海 重 夫	60. 7. 1~62. 6.30
文教育学部 教 授	森 下 は る み	60. 7. 1~62. 6.30
理学部教授	瀬 野 信 子	60. 7. 1~62. 6.30
理学部教授	清 水 碩	60. 7. 1~62. 6.30
家政学部 教 授	相 田 浩	60. 7. 1~62. 6.30
家政学部 教 授	板 倉 壽 郎	60. 7. 1~62. 6.30
家政学部 教 授	原 ひ ろ 子	60. 4. 1~62. 3.31
家政学部 助 教 授	水 野 悌 一	60. 7. 1~62. 6.30

## 附属学校委員会（附属学校部）

附 属 学 校 部 長	*河 野 重 男	
文教育学部 教 授	小 川 剛	60. 4. 1~62. 3.31

理学部教授	松田 千鶴子	59. 4. 1~61. 3. 31
家政学部教授	田口 恒男	59. 4. 1~61. 3. 31
事務局長	広重 利之輔	
附小学校属長	尾田 幸雄	
附中学校属長	新関 滋也	
附高等学校属長	犬養 廉	
附幼稚園属長	外山 滋比古	
附小学校教頭	萩原 栄	
附中学校教頭	八城 慶子	
附属高等学校教頭	藤井 徳爾	
附幼稚園教頭	村石 京	

#### 附属学校教育研究委員会（附属学校部）

附学校部属長	*河野 重男	
文教育学部教授	市川 孝	59. 4. 1~61. 3. 31
理学部教授	遠山 益	59. 4. 1~61. 3. 31
家政学部教授	原 ひろ子	59. 4. 1~61. 3. 31
文教育学部助教授	宮原 修	60. 4. 1~62. 3. 31
家政学部助教授	黒田 淑子	59. 4. 1~61. 3. 31
附小学校属長	尾田 幸雄	
附中学校属長	新関 滋也	
附高等学校属長	犬養 廉	
附幼稚園属長	外山 滋比古	
附小学校教頭	萩原 栄	
附中学校教頭	八城 慶子	
附属高等学校教頭	藤井 徳爾	
附幼稚園教頭	村石 京	
附小学校教諭	黒部 善之	60. 4. 1~61. 3. 31
附小学校教諭	澤本 和子	59. 4. 1~61. 3. 31
附中学校教諭	永井 啓子	59. 4. 1~61. 3. 31
附中学校教諭	吹貝 賢一	59. 4. 1~61. 3. 31
附属高等学校教諭	早崎 捷治	59. 4. 1~61. 3. 31
附属高等学校教諭	三浦 良子	59. 4. 1~61. 3. 31
附幼稚園教諭	守永 英子	59. 4. 1~61. 3. 31
附幼稚園教諭	熊谷 正子	60. 4. 1~61. 3. 31

#### 新任部局長紹介

##### 附属学校部長

（任期 昭和60年7月16日～  
昭和63年7月15日）



こう の しげ お  
河野 重男

大正15年7月10日

宮崎県出身

教育社会学専攻

##### 〔略 歴〕

昭和29年 東京大学教育学部卒業、同大学助手、  
国立教育研究所員を経て、昭和34年からお茶の  
水女子大学

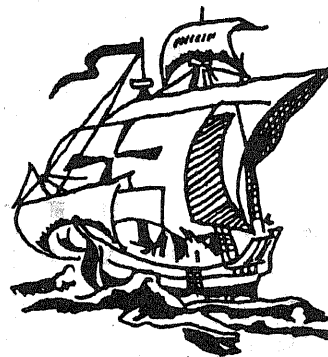
現在 文教育学部教授（教育社会学講座）

##### 〔趣 味〕

囲 碁

##### 〔就任の言葉〕

いろいろな面で大きな転換期にある附属学校部です  
ので、どこまで責任を果たせるか分かりません。なにご  
とによらず、与えられた仕事は、それを自分なりに受  
けとめて誠実一路の途を歩むしかないと考えておりま  
すので、どうぞよろしくお願い致します。



学

事

○昭和61年度大学院人文科学研究科（修士課程）学生  
募集要項（抄）

1. 専攻名および募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲学専攻	8	英文学専攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学 }	8	教育学専攻	12
地理学専攻	6	舞踊教育学専攻 { 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演奏学 }	10
日本文学専攻	8		
中国文学専攻	4		

2. 修業年限 2年

3. 出願資格 下記該当の女子とする。

1 大学を卒業した者、および昭和61年3月卒業見込の者

2 学校教育法施行規則第70条の規定により、本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

4. 出願手続

(1) 入学願書 用紙は本学で交付

(2) 卒業（または見込）証明書

(3) 推薦書 指導教官または主任教官等により作成されたもの（形式随意）

(4) 調査書 大学院修士課程入学選抜実施要項に基づく調査書。用紙は本学で交付

(5) 健康診断書 用紙は本学で交付

(6) 写真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きさ名刺型。3枚、願書の指定欄にはる。

(7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、60円切手をはる。

(8) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料(18,000円)を添え、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

5. 出願期日・願書受付場所

(1) 1月16日（木）から1月23日（木）までの間、休日を除き毎日午前9時から午後3時まで。ただし、土曜日は午前11時30分まで。なお、郵送の場合は締切日が過ぎても昭和61年1月23日以前の消印のあるものに限り受け付ける。

(2) 受付場所 本学文教育学部事務部

6. 選考期日・時間割および試験場所

(1) 選考期日 昭和61年1月31日（金）  
2月1日（土）

(2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名		1/31 筆記試験科目		2/1 口述試験	備考
		外国語	専門科目 (13:00～15:00)		
哲学専攻	哲学		哲学	10:00～	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	倫理学		倫理学		
	美学		美学		
	社会哲学		社会哲学		
史学専攻	日本史学		日本史学	10:00～	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	東洋史学		東洋史学		
	西洋史学		西洋史学		
地理学専攻			地理学		註ハ参照
日本文学専攻		10:00～11:30	国文学および国語学		

中国文学専攻		英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。	中国語学および中国文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
英文学専攻			英語・英語学および英米文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
教育学専攻			教育学・教育心理学のうちいずれか1科目選択、および論文		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
舞踊教育学専攻	舞踊教育学		舞踊学および論文 論文は志望する講座出題の課題を選択する。	10:00～ 舞踊実技を課することがある。	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	遊戯学				
	動作学		西洋音楽史または日本音楽史	10:00～ 演奏（任意の楽器または声、曲目は自由）を課することがある。	
	音楽学			10:00～ 10分程度の演奏実技（曲目は自由）を課する。	
	演奏学				

註 イ. 上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ. 口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行う。

ハ. 地理学専攻の筆記試験には学士論文もしくは、これに準ずる研究の要旨記述を含ませることがある。

ニ. 学士論文（上記、提出を指示された専攻志望者のみ。）を提出できない事情のある者はその旨申し出ること。

ホ. 教育学専攻および舞踊教育学専攻（舞踊教育学、遊戯学、動作学）志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文（2,000字程度）を作成する。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学

7. 検定料・入学料および授業料

検定料 18,000円 入学料 150,000円

授業料(年間) 252,000円

8. 合格者発表

昭和61年2月7日(金)12時頃、学内に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教育学部事務室で交付する（受験票持参のこと。）都合により当日、来学できない合格者には、本人に郵送する。

9. 注意事項

(1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。

(2) 出願手続後はどんな事情があっても、書類の変更および検定料の払戻しの要求には応じない。

(3) 合格、不合格に関する郵便、電信、電話等による問い合わせには一切応じない。

○昭和61年度大学院理学研究科修士課程学生第2次募集要項(抄)

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

(1) 大学を卒業した者及び昭和61年3月卒業見込の者

(2) 文部大臣の指定した者

(3) 外国の大学を卒業した者

(4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。

(2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
		1月31日(金)	
		9:20～10:50	一般・基礎(微積分) 教育科目(代数と幾何位相空間)

数 学	数 名	11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露のうちから2カ 国語を選択)
		13:30~15:30	専門科目 (数学)
		16:30~	口述試験
物理学	数 名	1月31日(金)	
		9:20~10:50	一般・基礎教育科目 (物理学)
		11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露のうちから2カ 国語を選択)
		13:30~15:30	専門科目 (物理学)
化 学	数 名	16:30~	口述試験
		1月31日(金)	
		10:30~12:00	一般・基礎教育科目 (化学及び※「物理学又は生物学」)
		13:00~16:00	専門科目 (化学)
		2月1日(土)	
生物学	数 名	10:00~12:00	外国語 (英・独・仏・露のうちから2カ 国語を選択)
		13:30~	口述試験
		1月31日(金)	
生物学	数 名	10:00~12:00	外国語 (英・独・仏・露のうちから2カ 国語を選択)
		13:00~16:00	専門科目 (生物学)
		16:30~	口述試験

※物理学又は生物学のうち1科目を選択すること。

ただし、志望区分「化A」「化F」志望者は第1志望、第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

#### 4. 出願期間

昭和61年1月16日(木)から1月23日(木)まで。

郵送する場合は、必ず書留として「大学院入学願書」と朱書し、1月23日(木)までに必着のこと。

#### 5. 出願手続

##### (1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部

イ 時間 平日は午前9時から午後3時  
(土曜日は11時30分)まで

##### (2) 提出書類等

ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)

イ 卒業(又は見込)証明書

ウ 健康診断書(本学所定の用紙)

エ 調査書(本学所定の用紙)

オ 検定料18,000円 現金又は郵便為替

カ 受験承諾書(在職者及び他の大学の大学院在籍者)

キ 返信用封筒 郵送の場合、あて先を明記した60円切手をはった定形郵便物用封筒を同封する。

#### 6. 合格者の発表

(1) 2月6日(木)正午の予定。理学部1号館内公示板に掲示、合格通知書を送付

(2) 入学手続関係書類は、昭和61年3月中旬に送付

#### 7. 修了の条件及び学費

(1) 修業年限は2年以上とする。

(2) 総計30単位以上修得すること。

(3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。

(4) 入学科 150,000円、授業料 年額 252,000円

#### 8. その他

(1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。

(2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、70円切手をはった定形郵便物用封筒を同封すること。

(3) 問い合わせは、往復はがきか返信先を明記した返信用封筒(切手貼付)を同封すること。

#### ○昭和60年卒業式・学位記授与式及び学位記(論文博士)授与式について

9月30日(月)大学会議室において、昭和60年卒業式・学位記授与式及び学位記(論文博士)授与式が行われました。

なお、卒業者は1名、学位記被授与者は修士、論文博士各1名です。



**諸 報**

○昭和60年度科学研究費補助金交付決定者一覧

種 目	研究代表者 所 属 ・ 職	氏 名	配 分 額 (千円)	研 究 課 題 名
特定研究 (1)	家政学部・教授	原 ひ ろ 子	9,700	急増する母親の就労に伴う家庭生活の変動と 家庭・地域社会の次世代育成力の活性化に関 する総合的調査研究

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
理 学 部 助 教 授	根 本 心 一	アメリカ	第10回国際発生生物学会議出席及 び研究討論のため	60. 8. 4～ 60. 8. 18	研 修
人間文化研 究科 助 手	大 塚 恵	大韓民国	「日本と韓国における味覚文化の 比較」に関する第一回調査	60. 8. 12～ 60. 8. 21	出 張
理 学 部 助 教 授	小 山 敏 子	西ドイツ	オーバーボルフファッハ数学研究 所におけるアーベル群シンポジウ ムにおいて講演及び討論のため	60. 8. 10～ 60. 8. 22	研 修
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	タイ	チェンマイ大学における茶の研究 と調査	60. 8. 22～ 60. 8. 28	〃
理 学 部 教 授	中 西 正 城	チェコ 西ドイツ	第 8 回国際熱分析会議に出席	60. 8. 15～ 60. 8. 29	〃
理 学 部 講 師	藤 枝 修 子	チェコ 西ドイツ	第 8 回国際熱分析会議に出席	60. 8. 15～ 60. 8. 29	〃
生活環境研 究センター 教 授	福 場 博 保	イギリス フィンランド	国際栄養学会議出席及びヨーロッ パ栄養事情調査	60. 8. 17～ 60. 8. 31	〃
理 学 部 教 授	瀬 野 信 子	オランダ ベルギー	第13回国際生化学会議に発表及び 討論のため	60. 8. 17～ 60. 9. 1	〃
理 学 部 助 手	鈴 木 正 継	アメリカ	グラファイト層間化合物に関する 共同研究	59. 7. 10～ 60. 9. 2	〃
文教育学部 助 教 授	上 野 浩 道	アメリカ	日米教育委員会の実施している 1984-85年度フルブライト・プロ グラムによる上級研究員としてオ レゴン大学で研究のため	59. 9. 4～ 60. 9. 3	〃
文教育学部 助 教 授	田 中 真 砂 子	ニュージー ランド	ニュージーランド・マオリの部族 文化変容に関する研究一都市化と の関連において一	60. 7. 12～ 60. 9. 4	出 張
家 政 学 部 助 教 授	長谷部 ヤ エ	デンマーク	国際学会 C L I M A 2000 に出席及 びデンマーク工科大学ファンガー 教授と共同研究のディスカッショ ンのため	60. 8. 11～ 60. 9. 8	研 修
理 学 部 講 師	芦 原 坦	イギリス ベルギー デンマーク 台 湾	植物の代謝調節に関する研究及び 討論のため	60. 7. 15～ 60. 9. 12	〃
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	ユーゴスラビ ア ブルガリア スイス	「数学的概念の化学への応用に 関する国際会議」出席及び研究討 論のため	60. 8. 31～ 60. 9. 12	出 張
理 学 部 助 手	松 浦 悦 子	アメリカ	老化の生化学研究のため	58. 10. 15～ 60. 9. 14	研 修

理学部 助教	松本 勲 武	アメリカ	第8回国際複合糖質シンポジウム 出席	60. 9. 7～ 60. 9. 15	出張
生活環境 研究センター 助教	大橋 昌 子	アメリカ	第8回国際複合糖質シンポジウム 出席	60. 9. 7～ 60. 9. 15	研修
文教育学部 教授	平野 孝	アメリカ	アメリカ農民運動史研究のため	60. 6. 21～ 60. 9. 18	"
理学部 助 手	森本 せ つ	ベルギー 西ドイツ スイス ソビエト オーストリア	メスbauer効果応用国際会議に 出席、講演及び研究課題の討論の ため	60. 9. 13～ 60. 9. 30	"
理学部 教授	伊藤 厚 子	ベルギー オランダ 西ドイツ イギリス	メスbauer効果応用国際会議に 出席及び招待講演	60. 9. 12～ 60. 9. 30	"
理学部 教授	松田 千鶴子	フランス	日仏セミナー出席と関連研究機関 との研究交流のため	60. 9. 29～ 60. 10. 13	"
理学部 教授	遠山 益	イギリス フランス 西ドイツ オーストリア	文部省在外研究（短期）による葉 緑体の微細構造的分化に関する研究	60. 8. 15～ 60. 10. 14	出張
理学部 助 手	大島 裕 子	アメリカ	日米科学技術共同事業による共同 研究として剪断流中の渦の構造及 びその相互作用の研究を行うため	60. 9. 16～ 60. 10. 15	"

## ○研修

名 称	実 施 期 日	対 象 者	修 了 者	主 催
昭和60年度お茶の水女子大学事務系主任研修	昭和60年8月27日～ 8月30日	行政職俸給表(一)適用の主任又はこれと同等と認められる者のうち年齢が53歳以下の者	※以下のとおり	お茶の水女子大学
※修了者氏名 (庶務課人事係給与主任) 上島正彦 (庶務課庶務係交換室主任) 涌井豊子 (会計課用度係用度主任) 峯村 薫 (厚生課厚生係就職主任) 菊池政樹 (理学部学務係学務主任) 田代和敏 (附属図書館参考係) 真野真知子 (附属学校部総務係庶務主任) 堀江順子 (庶務課大学院係学務主任) 村山正栄 (会計課出納係出納主任) 田沼行文 (学生課教務係教務主任) 斉藤 実 (文教育学部学務係学務主任) 中島武幸 (家政学部学務係学務主任) 近本政明 (附属図書館閲覧係) 池田容子				
昭和60年度五大学事務系初任職員研修	昭和60年9月4日～ 9月6日	五大学に、原則として実施期日から過去1年間に、新規採用された事務系職員(行政職俸給表(一)の適用者)	※以下のとおり	東京外大 京大東 京大語 学、芸 術大 学、商 船大 学、東 京水 産大 学及 びお 茶の水 女子大 学
※修了者氏名 (会計課総務係) 渡 邊 尚 平 (会計課用度係) 大 島 英 夫 (施設課工営係) 中 村 敏 明 (会計課出納係) 山 本 直 之 (会計課管財係) 松 田 弘 (附属図書館総務係) 高 橋 ひとみ				
第20回関東甲信越地区国立大学等会計事務職員研修会	昭和60年9月3日～ 9月7日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有するもの	会計課総務係 河 合 泰 和	文部省 及び東 京医科 歯科大 学
第23回関東・甲信越地区国立学校等係長研修	昭和60年10月1日～ 10月4日	(1) 係長又は、係長相当の職にある者 (2) 年齢50才以下の者 (3) 勤務成績が優秀な者	庶務課人事係長 吉 成 政 行 庶務課大学院係長 柿 澤 秀 春	文部省 及び横 浜国立 大学、

第36回文部省会計事務特別研修	昭和60年9月30日～10月19日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25以上30歳以下の者	会計課用度係 柴田 正 造	埼玉大学 文部省
-----------------	-------------------	--	---------------	-------------

## ○レクリエーション行事

## 1 鑑 賞

行 事 名	実 施 日 時	参加者数	実・施 場 所
昭和60年度映画鑑賞（第一回） 題名 007美しき獲物たち ビルマの罫 マルタの鷹 ランボー恐りの脱出 男はつらいよ寅次郎恋愛塾 情婦	昭和60年7月20日～8月30日	60人	都内近郊映画館

## 2 スポーツ大会

行事名	実施日時	参加者数	入 賞 者（チ ャ ム） 等	実施場所
昭和60年度職員ボウリング大会	昭和60年9月27日 18時～20時	45人	1位（庶務課）吉成政行（会計課）渡邊尚平、山本直之 2位（会計課）三井田勝（文教育学部）西原敏雄、菊池恵子 3位（庶務課）涌井豊子（会計課）柴田正造（施設課）八重樫博	池袋ブランドウィック・スポーツガーデン
昭和60年度職員硬式テニス大会	昭和60年10月12日 13時～17時	36人	1位（会計課）河合泰和・藤田美恵子（理学部）細矢治夫・（家政学部）大塚伝也（附属高等学校）古山泉・谷田部玲生 2位（会計課）三井田勝・柴田正造（会計課）山本隆・（施設課）熊谷卓郎（附属高等学校）三浦良子・北村千秋 3位（庶務課）金井晃・（会計課）峯村薫（施設課）辺見張蔵・八重樫博（施設課）竹部正二・（理学部）富永靖徳	大学テニスコート
昭和60年度職員軟式テニス大会	昭和60年10月19日 13時～17時	36人	1位（会計課）河合泰和・（庶務課）横山典子（会計課）三井田勝・（文教育学部）菊池恵子（学生課）村山恵子・古賀智 2位（庶務課）上島正彦・金井晃（施設課）辺見張蔵・八重樫博（理学部）濱野光代・吉留まゆみ 3位（会計課）斉藤正広・（文教育学部）湯田環（文教育学部）西原敏雄・吉田美枝子（理学部）岩田光夫・萩原あゆみ	大学テニスコート

※ 入賞者に副賞として賞品が、また参加者全員に記念品が贈られた。



ボウリング大会 入賞者チーム



硬式テニス大会



軟式テニス 大会

## ○11月のレクリエーション行事

下記のレクリエーション行事が実施されますので、  
奪ってご参加ください。

記

## 1 ソフトボール大会

日 時 11月16日(土) 12時40分～16時30分

場 所 大学グラウンド

参加人員 120人

入賞者には賞品が、参加者全員に参  
加賞が贈られます。

## ○健康診断

事 項	実 施 期 日	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
昭和60年度人間ドック	昭和60年6月17日 ～9月19日	満35歳(昭和60年4月1日現在)以上の 共済組合員(任意継続組合員を含む。) 及びその被扶養者で ある配偶者	118人内 訳 一泊2日 コース 45人 日帰りコ ース 73人	平塚胃腸クリニック
昭和60年度職員特別定期健康診断	昭和60年9月25日	自動車運転手	3人	保健管理センター
昭和60年度職員一般定期健康診断 (第1回)	昭和60年10月17日 昭和60年10月18日	全職員。ただし、昭 和60年度人間ドック 受診者及び遠隔地勤 務者を除く。	220人	"

## ○11月の健康診断

このことについて、下記により健康診断を実施します。

記

事 項	昭 和 60 年 度 肝 臓 機 能 検 査	昭 和 60 年 度 胃 の 検 査
実施期日	昭和60年11月6日(水) 午前9時～11時 昭和60年11月13日(水) " 昭和60年11月20日(水) " のうち希望する日	昭和60年11月20日(水) 男子午前8時30分～10時 女子午前10時～11時30分 昭和60年11月21日(木) 女子午前8時30分～10時 男子午前10時～11時30分
対 象 者	昭和60年4月1日現在満40歳以上の職員。 ただし、昭和60年度人間ドック受診者、特 別定期健康診断受診者及び遠隔地勤務者を 除く。	昭和60年4月1日現在満40歳以上の常勤職員。ただし、 前年度の検査で今年度直接2次検診と判定された者、 昭和60年度人間ドック受診された者及び妊娠中の女子 職員を除く。
場 所	保健管理センター	保健管理センター前集団検診車内
検査項目 内容及び 検査方法	GOT、GPT、ZTT、ALP、総コレ ステロール、クレアチニン、尿酸(男子)、 中性脂肪、γ-GTP(男子)、空腹時血糖 約10cc採血し、試薬により検査する。	胃部X線間接撮影(70mm 6枚)
予定人員	70人	50人

## ○昭和60年度教育・文化週間の実施について

昭和60年10月18日付け文部事務次官通知(抜粋)

標記のことについて、実施することになりまし  
た。

教育・文化週間は、昭和34年閣議了解に基づくも  
ので、ついては、趣旨を理解され、この期間内にお  
いて適切な行事等を計画、実施し、教育・文化に関  
する国民の関心と理解を深め、もってその充実振興

を図るよう御配慮願います。

# 1. 名 称

昭和60年度教育・文化週間

# 2. 趣 旨

教育・文化週間（昭和34年9月4日閣議了解）の趣旨に基づき、文化の日を中心として教育・文化に関する行事を全国的に実施し、教育・文化に関する国民の理解と関心を深め、もってその充実振興に資するものとする。

# 3. 期 間

昭和60年11月1日（火）から昭和60年11月7日（月）まで

# 4. 行事等

(1) 教育・文化に功労のあった者や優良な教育・文化施設の表彰を行う等、功績を顕彰し教育・文化の振興に資する。

## (2) 芸術公演等の開催

芸術文化の向上を図ることを目的として、第39回芸術祭を10月1日から11月10日まで開催、地方における芸術・文化の発展に寄与するため、移動芸術祭公演を9月から12月までの間開催し、文化に関する一般の理解と関心を深める。

(3) 国及び地方の教育・文化関係施設は、この週間にちなんで、実情に即した各種の文化的行事を実施するとともに、地域住民がすすんで参加する機会が得られるよう努めるものとする。また、特に学校にあっては、行事と関連して、父母参観や、住民の行う各種の文化活動のための学校開放等を行い、地域社会との積極的な交流を図るものとする。

(4) 教育・文化に関する広報活動

## ○職員の仕事等変更

## ○住居表示変更

## ○新任者住所

日	誌
(60. 8. 16 ~ 10. 15)	

8月20日(火) 国立大学図書館協議会準備小委員会  
(於本学)

22日(木) 農水産分野出身国立大学長会議(22日・23日: 帯広畜産大学)

23日(金) 文部省共済組合実地監査

9月2日(月) 関東甲信越地区庶務部課長会議(2日・3日: 於図書館情報大学)

3日(火) 共通第1次学力試験に関する地区別情報処理連絡協議会(於大学入試センター)

5日(木) 東京地区国公立大学厚生補導部課長会議(於一橋大学)、自衛消防隊消防訓練審査会(於小石川運動場)

9日(月) 入学者選抜方法研究委員会

10日(火) 全国国立大学学生部長協議会(10日・11日: 於金沢大学)、関東甲信越地区国立学校広報・文書研究協議会(10日・11日: 新潟大学)

11日(水) 大学院人間文化研究科会議

12日(木) 一般教育委員会、学生・学寮委員会、事務連絡会議

13日(金) 入学試験委員会

14日(土) 公開講座(第1日目)

17日(火) 部局長会議

18日(水) 各学部教授会、各研究科委員会

20日(金) 入学試験委員会、将来構想検討委員会

21日(土) 公開講座(第2日目)

24日(火) 部局長会議、前学期末試験(24日~30

日)

- 25日(水) 評議会、附属学校委員会
- 26日(木) 教務委員会、関東甲信越地区管理事務協議会 (26日・27日: 於長岡技術科学大学)、都内国公立大学入試担当課長会議 (於東京大学)
- 27日(金) 附属学校教育研究委員会
- 28日(土) 公開講座 (第3日目)
- 30日(月) 昭和60年9月卒業式・学位記授与式及び学位記 (論文博士) 授与式入学者選抜方法研究委員会
- 10月1日(火) 秋期休業 (1日~7日)、外国人留学生見学旅行 (1日~3日: 於平泉、松島)
- 4日(金) 国立大学図書館協議会準備委員会 (於本学)
- 7日(月) 学生・学寮委員会、学寮協議会
- 8日(火) 後学期授業開始
- 9日(水) 学生部長候補者選挙公示
- 11日(金) 事務連絡会議、事務改善研究委員会、大学院家政学研究科入学試験
- 12日(土) 公開講座 (第4日目)
- 15日(火) 部局長会議、関東甲信越地区施設部課長会議 (15日・16日: 於群馬大学)